

福井市社北小学校

令和5年度 9月号

R5.9.22 発行

〒918-8055 福井市若杉4丁目143

☎0776-35-2821 (fax:35-2719)

Mail: y-kit-e@fukui-city.ed.jp



♪体育大会の練習もがんばります♪



人権教室が開かれました！

1学期の授業再開から、1ヶ月が経とうとしています。まだまだ暑い日があり、熱中症指数とにらめっこをして、子供たちの様子を見ながら体育の活動を慎重に行っています。そんな中、本校では、1・2年、3・4年、5・6年と学団ごとに「人権教室」を行いました。どの学年もテーマは、「いじめをなくそう」です。

各学団でDVDを鑑賞し、感想を交流したり考えを深めたりすることができました。

低学年は「白い魚とサメの子」、中学年は「さっちゃんの手」、高学年は「いじめとたたかおう」を鑑賞しました。子供たちは、真剣な様子でした。きっと、出てくるお話の主人公になったつもりで(当事者意識や自分事として)話を聞いていたのだと思います。

子供たちに、人権とは、「自分が大事、あなたも大事」「I am OK, You are OK」と伝えました。自分もまわりのみんなも一人一人がかけがえのない大切な存在であること、それは大切な権利であり、守って守られるべきものだと理解してもらいたいです。

I am OK,
You are OK.

人権教室の様子

中学年は、「しようがい」についても考えました。一人一人が自分ごととして考えられたかな。

まもるくん

低学年はたくさんの子供たちが発表できました。「いいお話だった」「感動した」と話していました。

あゆみちゃん

高学年は、いじめを見て「笑うこと」「知らんぷりすること」なども、いじめと同じだと理解できました。大切なことは、『いじめをしない させない 許さない』です。

子供たちは、振り返りを書きました。その後、保護者の方にも感想を書いていただきました。お忙しい中、ありがとうございます。この機会は、これからの子供の考え方や生き方に大きく影響すると思っています。一部ご紹介させていただきます。省略してあるところもありますが、ご了承ください。

しろいさかながいじめられていたのに、たすけたのがすごかった。いじめちゃだめとわかりました。ゆうきとやさしさがだいじとわかりました。いのちがいちばんだいじとおもいました。みんなのいのちもだいじとおもいました。

子供から白いお魚がいじめられたけれど、他の魚を助けたことで周りの魚と打ち解けられた話、命の大切さを学んだ話を聞きました。毎日が慌ただしく過ぎていく中で、大切なことをわかりやすく教えていただき、ありがとうございます。家庭でも、周りの人が困ったら手を貸すこと、助け合っ

今日のビデオで、ふつうの人とちがう人が、悲しい思いをしないようにするということがわかりました。ふつうの人とくらべてちがうところがあるからって、いじったりいじめたりするのは、絶対にだめだと思いました。さっちゃんのような人は世の中にたくさんいると思います。そういう人にたいどを変えずにせつすることが大事だと思います。

全部同じ人は、誰一人いないので、一人一人の違いを認めてあげて優しい気持ちで、困っている人がいたら勇気を出して助けてあげられる、そんな人がたくさんいたら、みんなが幸せになれるだろうねと話をしました。

ビデオを観て、人権擁護委員会の方の話を聞いて、いじめは小さなことから始まり、だんだんと大きなものになるということがわかりました。直接言うのではなくても、そのいじめられている子に寄り添うことができたなら、少し軽くはなるかなと思いました。これから、いじめはしないし、いじめられている子がいたら、声をかけてあげたと思いました。

いじめについての話をしっかりとすることができ、自分がどんな考えをもつのか、どんな行動をとるのか、などの話をしながら、本人の気持ちを聞くことができて、良かったです。また、人権についての話もできて良かったです。

白いさかなとサメの子というかみしばいを見て、だれかがこまっていたらたすけてあげたいとおもいました。わたしはすこしでもいじめをへらしたいです。いじめがなくなれば、せかいはもったのしくなるとおもいます。

お話を聞いて、いじめから「助けてあげたい」「へらしていきたい」という気持ちになったことが分かり、その気持ちを大切にしてほしいと思いました。

さっちゃんは、右手に指がないからお母さんになれないと思っていたけど、お父さんがぜったいになれると言ってくれて、じしんがもててよかったです。ほんとうにいじめはしてはいけないとわかりました。

学校で聞いてきた話を、家でも真剣に話してくれました。「いじめは絶対にしてはいけない」ということ、“自分”も“周りの人”も、同じように大切に、守らなければならないことなどを親子で話をしました。

今日の人権についてのお話を聞いて、いじめはちょっとしたことからはじめて、そこから広がっていくことを知りました。いじめをしている人も、遊び感覚でからかっていたけど、最終的には、本当のいじめにつながっていました。また、そのいじめを見て笑っている人も、いじめをしている人と変わらないことを知りました。わたしたちのクラスでは、まだいじめが起こったことはないけど、もし起きてしまったら、いじめられている人の良いところをたくさん見つけて、助けてあげたいです。

(いじめの芽が出たときに、周りの嘲笑が水分や栄養になってしまい、さらに大きくなる。大きくなった木は、どんなに枝を切っても、また多方面に延びていってしまう。だから、根っこにならないうちに、なくさなくてははいけない・・・という絵を描いてました。)

「人権のお話がある」と聞いて、どんな内容なのか？と思っていましたが、とても大切なことを学んできたんですね。絵を描いて説明してくれて、おー！この説明は分かりやすい！その通りだね！と思いました。今の時代、昔では考えられなかったような形でいじめられるケースもあるし、常に子供のことを心配しています。大人の世界でもいじめはあるし、生きている以上常に考えなくてはいけない課題ですね。・・・でもこうやって小学生の時に自分は人を傷つけない、もし辛い人がいたら助けてあげる、その大切さを心に入れておけば、きっとその場面を目にしてしまった時に対処していく力が付くと信じていきたいです。自分はこうするという強さ、人の気持ちを分かる優しさをもつことを常に声かけしていきたいと思います。